

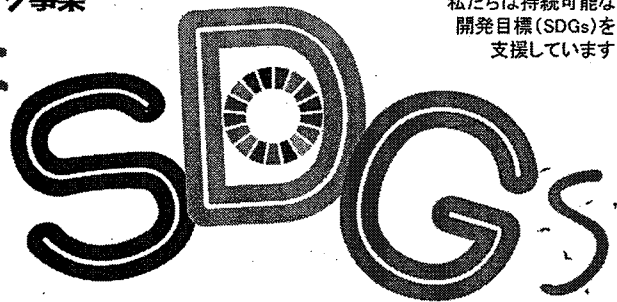
広島市公民館学習会の事例紹介

令和3年度安佐南区内公民館ネットワーク事業

うちの身近な

**フィリピンの
子どもたちに
服を届けよう！**

Clothing Donation Project



私たちは持続可能な
開発目標(SDGs)を
支援しています

Sustainable Development Goals

発表 古市公民館

公民館ではコロナ対応のため、令和3年度5月上旬からずっと主催事業が実施できていない

ネットワーク事業の防災啓発巡回展示(8-9月)も実施できないのでは？

危機感 ➡ 他館のベテラン職員と協議

キーワードはSDGs

FEST-HIROSHIMAの申し出を受け協働を模索

2

FEST-HIROSHIMAの当初案

ロビー等で衣類回収BOXとポスターを一定期間、設置する。

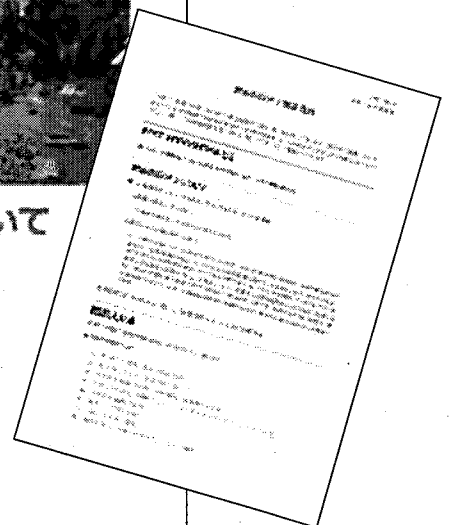
近隣の公民館や幼稚園等に依頼する。

集めた衣類はフィリピン現地の支援団体へ送る。

目標 100着



古着回収PIについて



3

無人回収BOX設置の問題点

- ・ゴミ箱にされるかも？
- ・無断で持ち帰られるのでは？
- ・洗濯されていないなど、臭いがするかも？
- ・溢れるほど集まったらどうする？

FEST-HIROSHIMAの案のままでは
施設管理上、難しい

公民館からの改善案

- ・FEST-HIROSHIMAと公民館の共催で、回収イベントを行う
 - +
 - ・回収イベントの前後に青少年を対象としたSDGs学習事業を行う
- (
- ・SDGs学習の中でFEST-HIROSHIMAの活動紹介
 - ・イベントを体験学習の機会とする
-)

地域 + 青少年
= 社会参画

事業企画

青少年のSDGs学習、実践体験

対象 青少年

回数 全3回（事前学習、体験学習、振り返り）



「衣類回収プロジェクト」FEST-HIROSHIMA主催 衣類回収をとおして地域住民へのSDGsの啓発

対象 地域住民

回数 数回のイベントの開催

6

目指すところ

- 学生の活動が地域に広く周知され、一緒に活動したい中高生が増える
- 善意の押し付けではない、現地で必要とされる支援についての周知
- 地域に広がるSDGs

事業目的

次世代を担う青少年を対象に、SDGsについて学び、実際の活動を体験する機会を通して、地域社会のみならず地球規模の課題を解決していける人材の育成を目指す

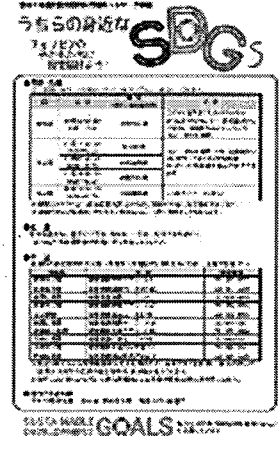
7

うちの身近なSDGs

～フィリピンの子どもたちに服を届けよう！～

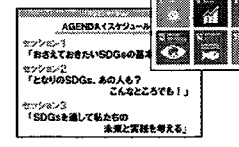
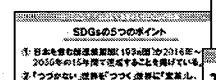
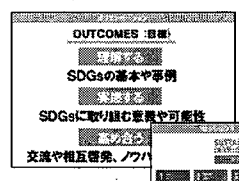
対象 学生
 場所 沼田公民館
 定員 30人
 内容

- 1.SDGs事前学習
- 2.活動体験
- 3.振り返り



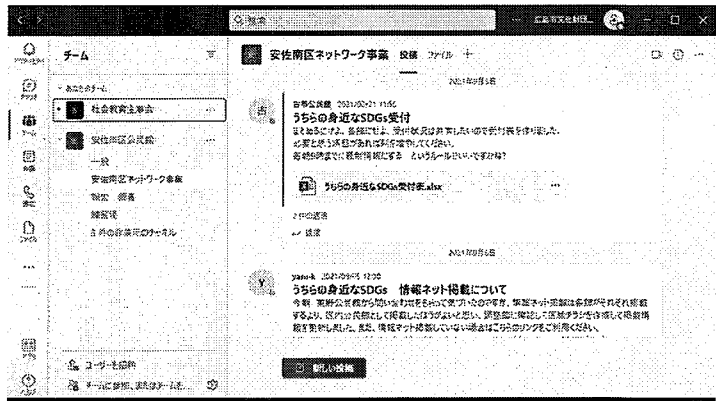
職員研修の実施

- SDGsについてまず職員が学ぶ
- ひとまち部の制度を使い、講師を招聘し研修



事務のDX (デジタルトランスフォーメーション)

- 受付状況等の情報共有
- オンライン会議の開催
- 参加者はLineでつながる



10



11

うちの身近なSDGs
～フィリピンの子どもたちに服を届けよう！～
衣類回収プロジェクト

対象 地域住民

場所 安公民館

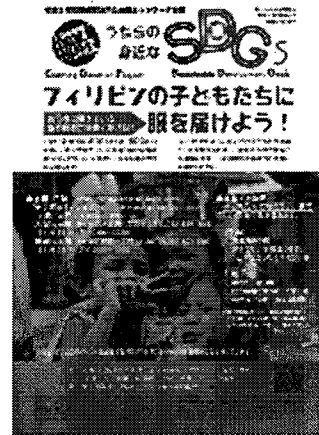
11月14日(日) 10:00-12:00

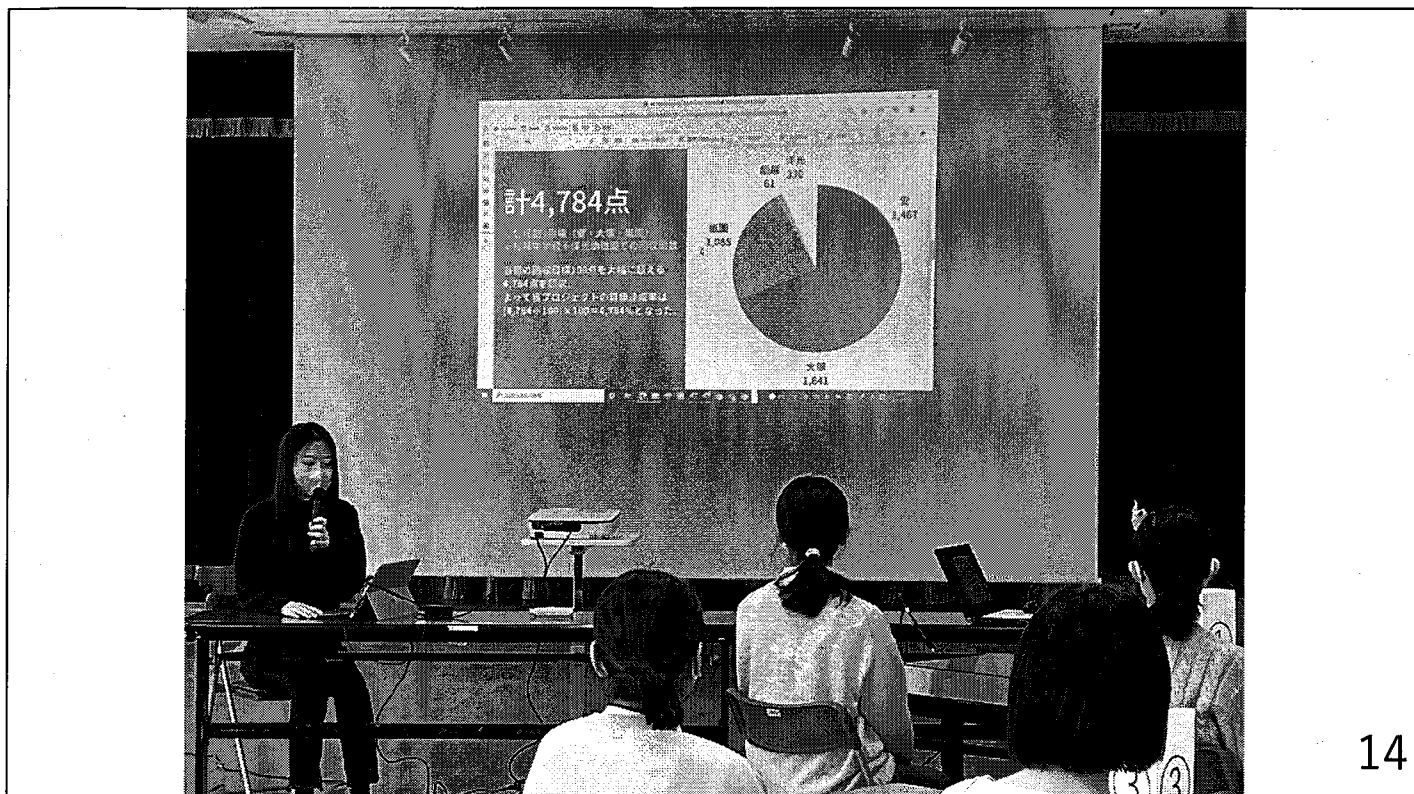
大塚公民館

11月21日(日) 10:00-12:00

祇園公民館

11月28日(日) 10:00-12:00





成果

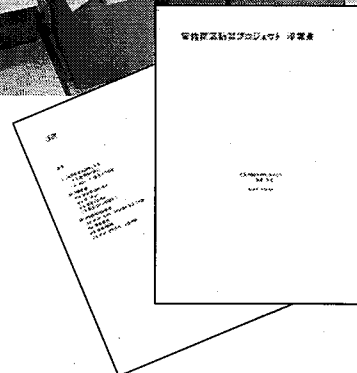
- 事業参加者は中学生、高校生、大学生、合わせて19名
+ FEST-HIROSHIMA 8名
- 衣類回収は3会場で行い、239名から4784点集め、一部は発送済み
- 参加者の満足度 93%

これから

- 残りの衣類発送準備
- FEST - HIROSHIMAと来年度も一緒に何かできないか協議中
「安佐南区防災プロジェクト」の提案を受ける

【予定】

- これまでの公民館、地域の取り組みについて説明
- 具体的な手法について研究



ご清聴
ありがとうございました。